

## AOCMP 参加報告

新潟大学院保健学研究科 吉田 悠理子

### はじめに

2011年9月29日から10月1日まで九州大学医学部百年講堂で行われた第11回アジア・オセアニア医学物理会議（AOCMP）[共催：第6回日韓医学物理学術合同大会（JKMP）、第102回日本医学物理学会学術大会]に参加しました。初めて訪れた福岡県は新潟県よりも暖かく、またたくさんの観光名所があり非常に充実した時間を過ごすことが出来ました。今回、AOCMPのYoung Investigator Awardsの一人に選ばれ、初めての国際会議で口頭発表を行うことが出来た事を非常に光栄に思います。国際会議ということで日本だけでなく、世界各国の方々の発表を聞き交流することが出来ました。また若手の方々の発表も多く、非常に感化された学会でした。

### 発表内容について

私は、Young Investigator Awardsのセッションで「A concept of portable CAD and development of its fundamental techniques」という演題名で口頭発表を行いました。この研究の目的は、CADの新しい応用のひとつとして、ポータブルCADを提案することです。ポータブルCADは、目の前の医用画像をコンピュータービジョンで取り込み、その画像から異常部位を自動検出し、目の前の医用画像に検出結果を指し示す独立駆動型のCADシステムを構想しています。今回は、胸部X線画像における肺結節陰影の自動検出に関する内容でした。胸部X線画像をモニタに表示し、その画面を光学カメラで撮影します。その撮影した画像と原画像に結節陰影の自動検出法を適用し、検出精度を比較しました。また、視線画像に対応する動画の中から医用画像を自動認識する手法についても発表しました。

### AOCMPに参加して

演題登録当初は、英語での発表に対する不安と学会の参加経験の浅さからPoster形式での発表を予定していました。しかし、Young Investigator Awardsへの応募を勧められ自分への挑戦も含めて応募したところ、幸いにもファイナリストに選ばれることが出来ました。学会では全ての発表が英語で、聞き取り理解することが難しく、自分の発表が迫るにつれ不安が大きくなりましたが、本番ではなんとか落ち着いて発表することが出来ました。また、質疑応答では、座長や質問者に優しく解りやすい英語で話していただいたので、無事にディスカッション（らしきもの）も行うことが出来ました。今回の学会では、特に自分の英語力の拙さを痛感しました。次に国際学会に参加するときには、英語により磨きをかけて、自分の研究についてさらに有意義なディスカッションが出来るようになればと思います。今回の学会に参加したことで、更に多くの英語での発表を理解出来るようになりたいという目標が出来ました。

会場の様子などの写真は以下のURLにありますので、ご興味がありましたらご覧ください。

<http://www.clg.niigata-u.ac.jp/~lee/topics/AOCMP2011/AOCMP2011.html>